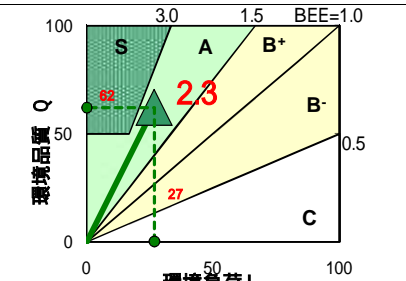


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)相模原物流センター計画	階数	地上5F
建設地	相模原市緑区西橋本5-9-1	構造	S造
用途地域	工業地域	平均居住人員	270人
気候区分		年間使用時間	4,380時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年3月 予定	評価の実施日	2013年2月6日
敷地面積	22,024 m <sup>2</sup>	作成者	新日鉄住金エンジニアリング(株)
建築面積	11,807 m <sup>2</sup>	確認日	2013年2月10日
延床面積	44,013 m <sup>2</sup>	確認者	新日鉄住金エンジニアリング(株)



### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

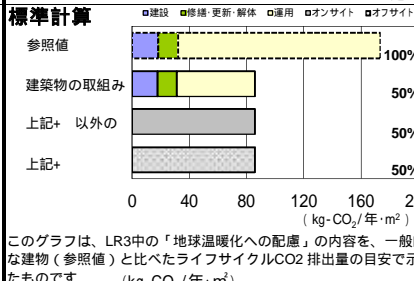
**BEE = 2.3** ★★★★★



S: A: B+: B: C:

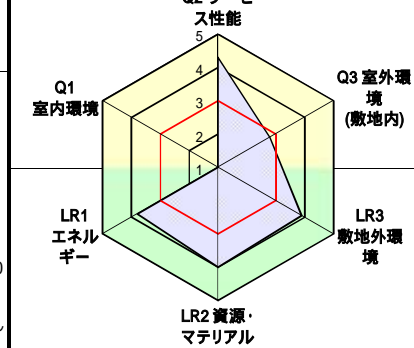
### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算



このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

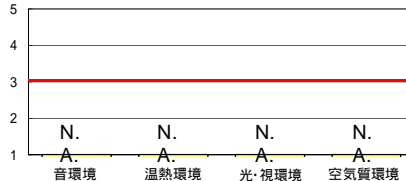


### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 3.4

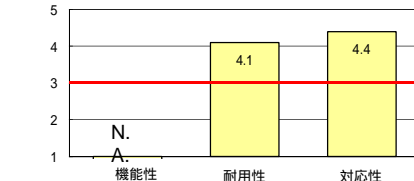
#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0



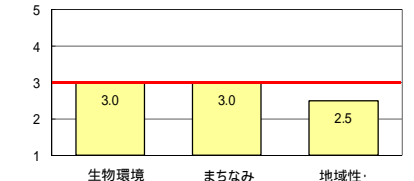
#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 4.3



#### Q3 室外環境(敷地内)

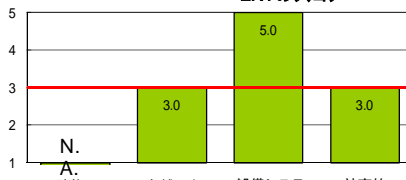
Q3のスコア = 2.8



**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 3.9

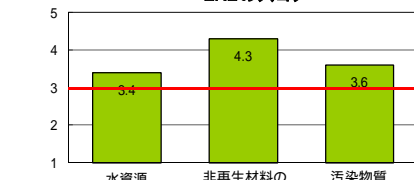
#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8



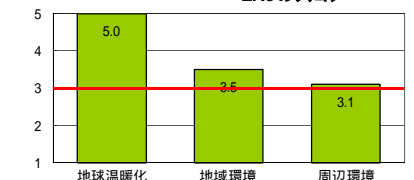
#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 4.0



#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.9



3 設計上の配慮事項		その他
<b>総合</b> 倉庫としての基本機能を確保しつつ、将来の機能拡張や耐久性に配慮した材料の採用などリサイクルな建築を目指す。		0
<b>Q1 室内環境</b> 評価対象外	<b>Q2 サービス性能</b> 倉庫として十分な空間や設計用床荷重の確保、将来の機能拡張に向けたケブ・ルックやスリブ対応などの更新性や、耐久性に優れた材料の採用など建物を長期間にわたって使い続けることが可能な設計を行った。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 周囲の環境に配慮した緑地の計画を行った。
<b>LR1 エネルギー</b> 倉庫の使用工機材の使用比率が高い照明器具に高効率タイプの器具を採用している。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 節水に配慮した器具計画、躯体・非構造躯体にリサイクル材料を積極的に採用している。	<b>LR3 敷地外環境</b> 燃焼用の器具を一切使用しない。敷地内に十分な駐車場や駐車待機スペースを確保しており、周辺交通に配慮している。また外部への光漏れに配慮した照明計画を行なっている。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される